

崇城大（熊本市、中山峰男学長）とジェイコム九州（福岡市、徳田瑞穂社長）はこのほど、同大の星合隆成教授（コンセプトラボ会長）が提唱する「地域コミュニティブランド（SCB）理論」による地域活性化・地域情報化・コミュニティビジネスの発展に向け、同理論を実践する同大の関連会社・コンセプトラボとの3者で、包括連携協定を締結した。

SCB理論は「共通的な基盤（インフラストラクチャー）となるプラットフォームを提供し、地域に対しても標準化の考え方を導入して、それを全国に展開しようという試み。モノや組織をブランド化するのではなく、モノづくりや地域コミュニティづくりを通じて、活動そのものをブランド化するもの」（同大）。また、SCBは、ICTにおけるピア・ツー・ピアの概念を現実社会に持ち込み、地域活性化を図る取り組みを総称。これに賛同し活動するプロジェクトは、アイドルからTV局、行政など50団体・550人を数えるという。

今回の連携により、ジェイコム九州の「J:COM チャンネル熊本」（地デジ、10ch）を使った情報発信や、番組の共同制作、人材育成への波及効果などが期待されている。

写真は握手を交わす中山学長（左）、徳田社長（中央）、星合教授

